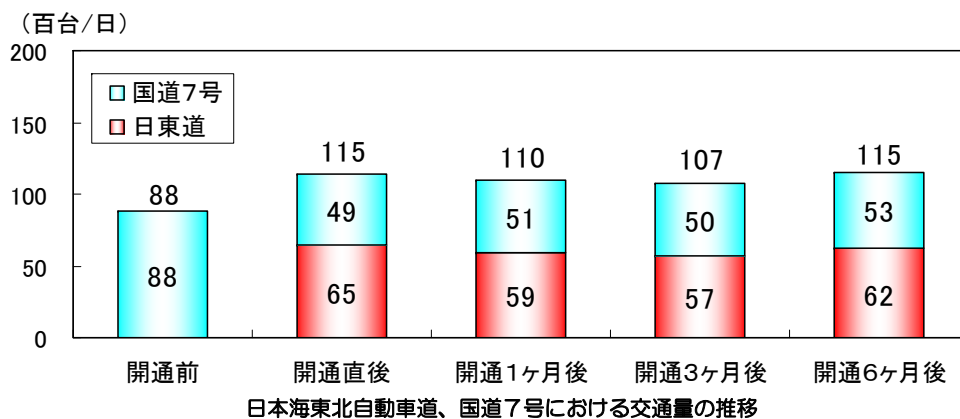


【開通6ヶ月後】日本海東北自動車道 あつみ温泉IC～鶴岡JCTが 開通して

(平成24年 3月24日開通)

- ①物流の**効率性**、**安全性**が向上
- ②沿線における**観光・レジャー活動**が活発化
- ③地域住民の移動における**速達性・快適性**が向上



■並行する国道7号の交通量が減少

開通前
国道7号 : 8,800台/日
高 速 : ー 台/日



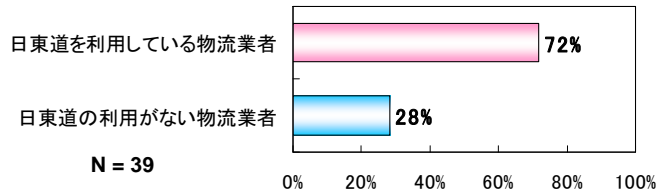
開通6ヶ月後
国道7号 : 5,300台/日
高 速 : 6,200台/日

事業期間 : 平成9年度～平成23年度
延長 : 25.8km
幅 員 : 12.0m (暫定2車)

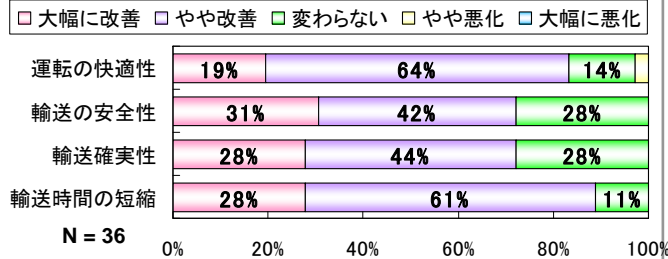
①物流の効率性、安全性が向上

【物流効率化】

○7割以上の物流会社が、日東道を利用



○物流面で様々な効果を実感



※いずれも、山形県沿岸部（鶴岡市方面）を通行する物流事業者を対象

○物流面での具体的な効果

- ・時間短縮により、**輸送コストを削減**することができた。
- ・**国道7号**においても、混雑時間帯の通行時間が短縮された。

○日東道を利用する上での問題・課題

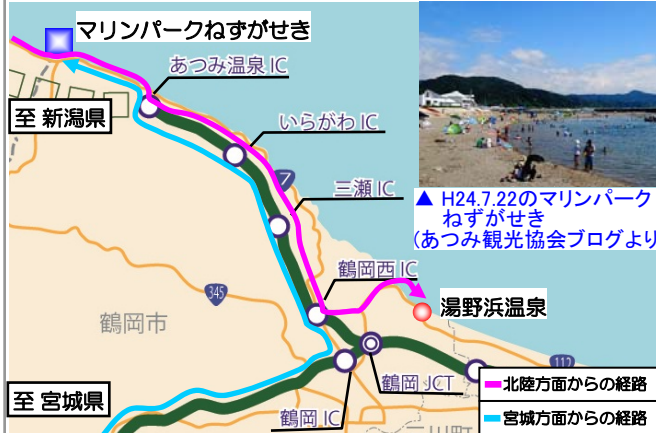
- ・あつみ温泉ICから国道7号へ出る際、迂回が大きく、**時間の無駄**が生じる。
- ・早く、**朝日まほろばICと直結**してほしい。

(いずれも山形県内の物流業者アンケート結果より)

②日東道沿線における観光・レジャー活動が活発化

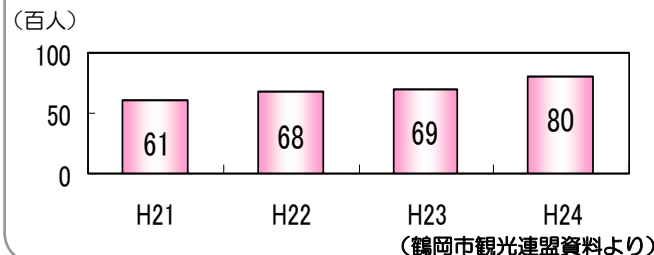
【観光活性化】

○日東道の利用による観光活性化



- ・今年は、北陸方面からの観光客が多く、石川県のお客様は、「**高速道路ができて便利になった**」と話していた。
- ・「マリンパークねずがせき」では、福島や宮城、山形ナンバーの車が目立った。(観光協会ヒアリング結果より)

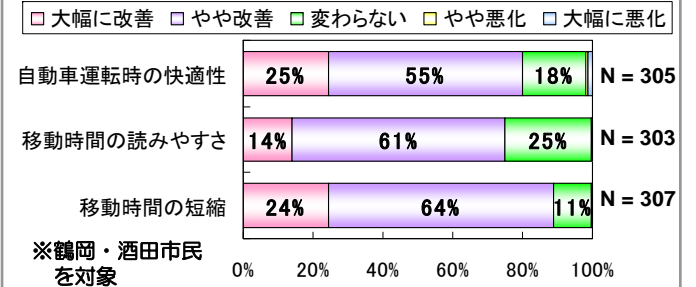
○マリンパークねずがせきの入込客数の推移



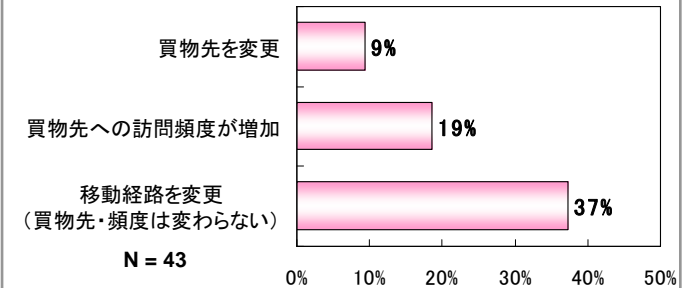
③地域住民の移動における速達性・快適性が向上

【生活利便性の向上】

○8割近くの人が速達性・快適性を実感



○新潟県・旧温海町⇄酒田・鶴岡市街の買物で、約6割の人が買物行動を変更



○買物行動での効果(生の声)

- ・旧温海町から、**仙台市や山形市が近くなった**ように感じられ、買物も行きやすい。
- ・旧温海町民にとって、**鶴岡方面での買物やレジャー**がしやすくなった。
- ・鶴岡市街に住んでいるが、**温海方面で買物**をする機会が増えた。

(いずれもWEBアンケート結果より)